

## 【小論文】

別添の資料（以下、「本資料」という。）は、ユヴァル・ノア・ハラリ著／柴田裕之訳『サピエンス全史（下）』（河出書房新社、2016年、127-162頁）の抜粋である。

本資料を読んで、以下の問いに答えなさい。

**問1** 近代資本主義がなぜ成立できたかに関する著者の見解を5-10行程度に要約しなさい。

**問2** 著者は、アダム・スミスの国富論を歴史上最も重要な経済学の声明書と呼んでもいいとしているが、①その理論が斬新な理論であるのはいかなる点にあるか、②なぜそのように言えるのか、③アダム・スミスの理論を支えるための根幹的ルールは何か、各3行程度に要約しなさい。また、④1990年代以降の日本経済の停滞の現状をアダム・スミスの理論によって説明するとどうなるか、5-10行程度で述べなさい。

**問3** ①著者の指摘する自由市場資本主義の欠点はどういうことにあるか、5-10行程度で答えなさい。②資本主義のメリットを生かしつつ、その欠点を是正するため、資本主義はどのように対処しようとしてきたかについて、自分の考えを述べなさい。（字数の制限はない）。

※問題文として、ユヴァル・ノア・ハラリ著／柴田 裕之訳『サピエンス全史（下）』（河出書房新社、2016年、127-162頁から抜粋）を筆記試験時に配付しました。